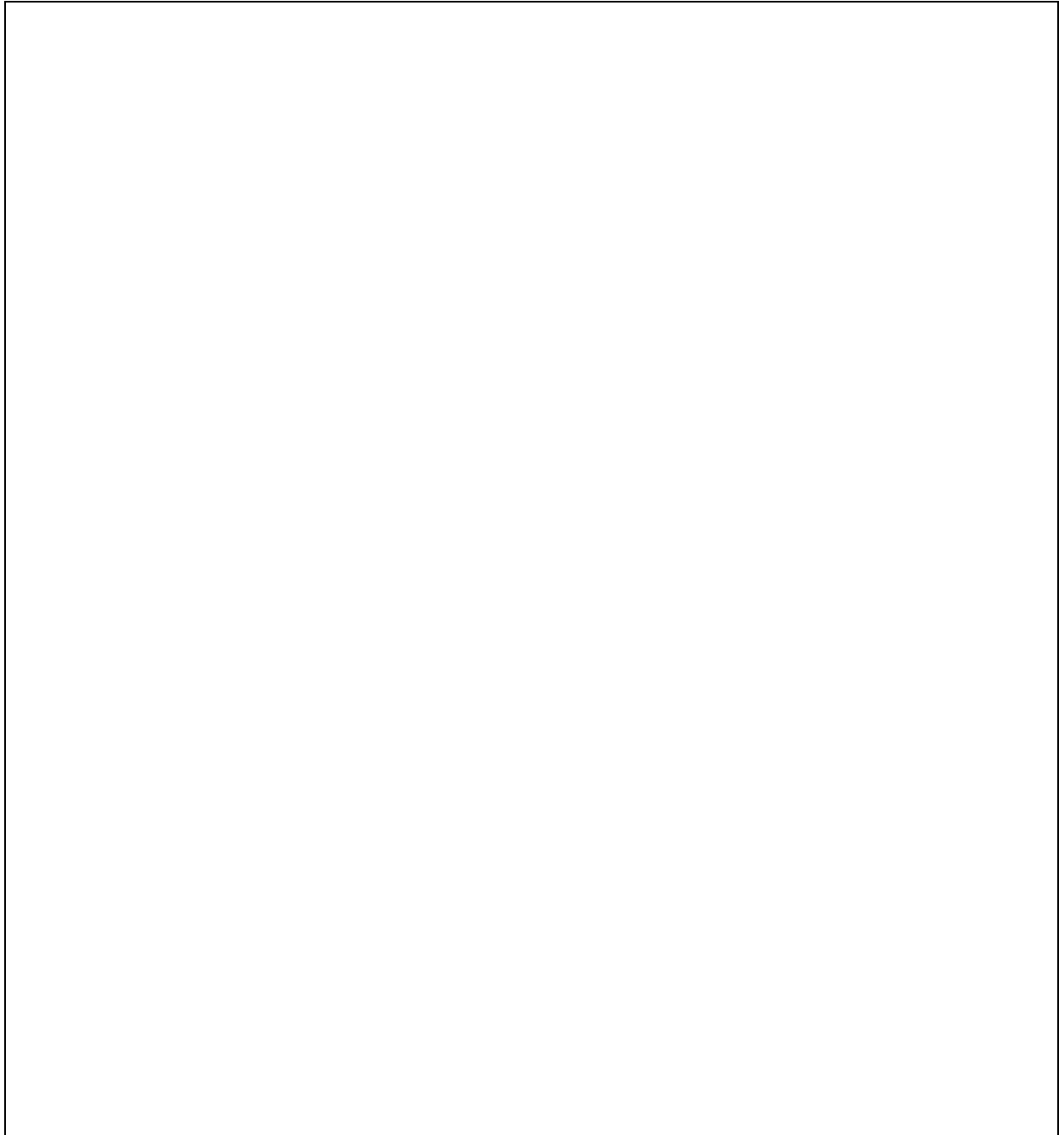


別紙 1

敷地内における建物および施設の配置ならびに用水および排水の系統



備考

- 1 建物の用途および施設には、番号を付すること。
- 2 用水および排水の系統については、用水を青に、排水を赤に色分けし、水源および排出先である公共用水域の名称を記入すること。
- 3 この別紙の他に適当な図面があれば、それによることができる。

## ばい煙発生施設の構造

工場等における施設番号			
名称および型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規          模	伝熱面積 ( $m^2$ )		
	バーナーの燃料の 燃焼能力 (重油換算 $l/時$ )		
	原料の処理能力 ( $t/時$ )		
	火格子面積または 羽口面断面積 ( $m^2$ )		
	変圧器の定格容量 ( $kVA$ )		
	触媒に付着する 炭素の燃焼能力 ( $kg/時$ )		
	焼却能力 ( $kg/時$ )		
	乾燥施設の容量 ( $m^3$ )		
	電流容量 ( $kA$ )		
	ポンプの動力 ( $kW$ )		
合成・漂白・ 濃縮能力 ( $kg/時$ )			

備考 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。

## ばい煙発生施設の使用の方法

工場等における施設番号					
使用状況	1日の使用時間、 月使用日数等	時から 時間/回 日/月	時まで 回/月	時から 時間/回 日/月	時まで 回/月
	季節変動				
原材料	種類				
	使用割合(%)				
	原材料中の成分割合(%)				
1日の使用量					
燃料 または 電力	種類				
	燃焼中の成分割合(%)	灰分	硫黄分	灰分	硫黄分
	発熱量(kcal)				
	通常の使用量(l/時)				
	混焼割合(%)				
排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /時)	最大	通常	最大	通常	
排出ガス温度( )					
ばい煙の 濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常
	硫酸化物(容量比 ppm)	最大	通常	最大	通常
		最大	通常	最大	通常
		最大	通常	最大	通常
		最大	通常	最大	通常
		最大	通常	最大	通常
		最大	通常	最大	通常
ばい煙量	硫酸化物(Nm <sup>3</sup> /時)	最大	通常	最大	通常
参考事項					

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄および燃焼中の成分割合(%)の欄には、硫黄分、灰分または有害物質の名称およびその割合について、重量比または容量比の別を明らかにして記入すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙処理施設がある場合におけるばい煙の濃度は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動がある施設については、参考事項の欄に工程中の排出量の変動状況を記入すること。

## ばい煙の処理の方法

工場等におけるばい煙処理施設の番号				
工場等におけるばい煙発生施設の番号				
工場等におけるばい煙処理施設の種類、名称および形式				
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /時)	最大		
		通常		
	排出ガス温度 ( )	処理前		
		処理後		
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		硫黄酸化物 (容量比、ppm)	処理前	
			処理後	
			処理前	
			処理後	
			処理前	
			処理後	
		処理後		
	ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /時)	最大	処理前
				処理後
			通常	処理前
			処理後	
捕集効率%	ばいじん			
	硫黄酸化物			
使用状況	1日の使用時間、 月使用日数等	時から 時まで 時間/回 回/日 日/月	時から 時まで 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動			
排出口(煙突、フード等)の大きさ (高さおよび排出口断面積)				
排出口から敷地境界線までの 最短水平距離				
排出速度 (m/秒)				
補正された排出口の高さ (m)				
捕集物質の処理方法				

備考 1 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

2 補正された排出口の高さは、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。

3 ばい煙処理施設の構造概要図を添付すること。